

第2回 横浜市港北区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月16日(水) 午後1時30分から4時30分まで 令和7年4月17日(木) 午後1時30分から4時30分まで
開催場所	港北区役所3階3号会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 西田 ちゆき (法政大学現代福祉学部兼任講師)</p> <p>委員 大森 幹雄 (港北区保健活動推進委員会会長)</p> <p>加藤 修 (港北区地区社会福祉協議会代表者)</p> <p>坂田 裕子 (税理士)</p> <p>竹崎 理浩 (港北区連合町内会代表者)</p> <p>中原 圭介 (港北事業者連絡会“ガンバ港北”会長(ケアマネ部会))</p> <p>羽場 和代 (港北区主任児童委員連絡会代表者)</p> <p>畑野 恵子 (港北区民生委員児童委員協議会代表者)</p> <p>【事務局】</p> <p>港北区福祉保健課長 郷原 寛史</p> <p>港北区福祉保健課事業企画担当係長 吉田 哲朗</p> <p>港北区福祉保健課事業企画担当 丸山 希和子</p> <p>港北区高齢障害支援課長 阿部 卓</p> <p>港北区高齢障害支援課高齢者支援担当係長 渡邊 哲治</p>
欠席者	なし
開催形態	非公開
議題	<p>1 事前確認事項</p> <p>2 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 応募団体の面接審査</p> <p>(2) 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>2 指定候補者及び次点候補者の選定、講評</p>
決定事項	<p>指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市港北区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市篠原地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会</p> <p>2 横浜市高田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 緑峰会</p> <p>3 横浜市下田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 横浜共生会</p> <p>4 横浜市大豆戸地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p>

	<p>指定候補者：社会福祉法人 横浜市サービス協会</p> <p>5 横浜市榎町地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 横浜共生会</p> <p>6 横浜市城郷小机地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 秀峰会</p> <p>※ 全て次点候補者はなし</p>
議 事	<p>1 事前確認事項</p> <p>事務局から、公募の結果各地域ケアプラザ 1 団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の 3 点について確認した。</p> <p>○委員会の公開・非公開 非公開とすることを確認。(第 1 回委員会で審議済み)</p> <p>○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1 施設に対して 1 団体のみ応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ・1 施設に対して複数の応募がある施設についても、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 <p>○応募団体の資格要件等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 <p>2 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 面接審査</p> <p>ア 横浜市篠原地域ケアプラザ</p> <p>(ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答 (委員) ケアマネジャー支援について、どのような取組をしているか。 (団体) 神奈川区との区界に位置していることを活かして、神奈川区とも協</p>

力しつつ、スキルアップのための講座を年3回開催している。
また、両親が要介護や要支援で、子が引きこもりという世帯があるので、区と協力し、引きこもりの方への支援のための講座を開催している。

(委員) 災害時の対応について、法人独自で取り組んでいることはあるか。

(団体) 福祉避難所を担う役割があり、BCPを作成している。

また、普通の避難訓練以外に、BCPを行う前段階として、物品がどこにあるのか等職員と共有を行った。発災した際に動けるよう事前確認を徹底している。

イ 横浜市高田地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 子育て世代に対し、重点的に行っていることは何か。

(団体) アンケートの中で、子育て世帯の要望が出てきたことから、未就学児向けのこども祭り、高田の保育園などの関係機関と事業所と一緒に取り組んでいる。生の声を聞くことを重視している。

(委員) 地域ケアプラザと町会、地域との連携について知りたい。

(団体) 1 連合町内会、1 地区社会福祉協議会のため、スムーズに連携できていると感じている。地域主体の事業にも地域ケアプラザも一緒に取り組むようにしている。例えば、高田小学校の 150 周年のイベントの際には、校庭を使って花火をするという地域のニーズに合わせた取組を行った。

ウ 横浜市下田地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 交通アクセスがあまり良くない立地かと思うが、貸館利用率は大体何割くらいか。

(団体) 昼間の利用率は8割程度だが、夜間は月2団体ほどである。
夜間の貸出がないところは18時閉館としている。

(委員) 今後の高齢者に関する課題はどのように考えているか。

(団体) 介護の需要が増え、介護に関する人員不足が問題と考えている。
教育教養プロジェクト等を通じて、介護を支える側につなげていきたい。また、定期的にケアマネジャーの意見交換会も実施し、協力体制を整備していきたい。

エ 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 地域への認知症の啓発活動は。

(団体) 認知症事業は、チームオレンジが始まる前から実施していた。

いろいろな方の集まる、認知証に関わる所が多くある場所ということで、港北図書館と連携した活動を行っている。

(委員) 地域のケアマネジャー育成はいかがか。

(団体) 専門性を高めるため、ケアマネジャー向けの研修会を地域ケアプラザで実施しており、20-30名参加があった。研修会では、職員同士での共有も行えた。

(委員) 災害対策として取り組んでいることは。

(団体) まず、区から渡されたものと、法人から渡されたものは区別して整理整頓するようにしている。また、なかなか使わない備品については定期的に入替している。他にも、地域防災拠点で福祉避難所としての役割をお伝えする取組を行っている。

オ 横浜市樽町地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) どのように地域支援をしていくのか。

(団体) 地域ケアプラザの職員だけでなく、地域の団体の方と一緒に動いていく。例えば、計画段階は地域ケアプラザも一緒に考え、実施するのは団体など分担して考えていきたい。

(委員) 樽町地域ケアプラザは、担当する地区が特に広大な範囲だと思うが、どのように支援しているのか。

(団体) 綱島分室があるが、それだけでなく、地域ケアプラザ職員が出向くことも重視していきたい。

(委員) ICT等で工夫していることはあるか？

(団体) 相談ケースが多く、分室と情報共有をしっかりと行うため、樽町地域ケアプラザ独自で開発した相談システムを使用している。

カ 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 次の担い手探しが難しい中、どのようなことをしているか。

(団体) 2年前支えあい連絡会で、自分の得意なことを地域に生かしていくため、全戸配布でアンケート実施した。結果、12、3名が活動に繋がることができた。

(委員) 災害時の備品などはどのようにしているか。

(団体) 行政からは、福祉避難所として3日分の備蓄を貰っている。

また、法人としては、災害時のマニュアルやBCPに基づき備蓄を行っている。

(2) 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

坂田委員より財務分析結果報告書について説明。

2 指定候補者及び次点候補者の選定、講評

応募団体から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市篠原地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,655/2,010点	1,577/1,098点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・篠原全体での子育て支援、中学校を軸に防犯パトロール等地域での見守り体制に入れていて良かった。
- ・ミニデイサービスの取組が良かった。
- ・地域ケアプラザの福祉避難所としての役割を住民へ説明できており良かった。

イ 今後期待すること

- ・地区センターとの合築であるので、その特徴を活かした連携等、幅広くネットワークを広げて行ってほしい。
- ・作業所との連携等、障害の分野で何か気軽に参加できるようなプログラムがあると良い。
- ・職員の充足率が少々低かったなので、今後期待したい。

(2) 横浜市高田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 緑峰会	1,568／1,950 点	1,537／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・お出かけプロジェクトについて、アンケートを取って、そこを発端に事業を行っていた。質問票の作り方やどこに回答してもらうか等、工夫して取り組んでいることが良かった。
- ・多種多様な事業所と連携が強くできており、専門性が高いネットワークの作り方だと感じた。
- ・年齢を重ねても楽しく参加できそうと思えるプランがあった。
- ・女性に対してだけでなく、男性に対しての事業もありよかった
- ・時代の流れに沿い、感じるものがあればそれに合わせて取り組む心構えを感じられた。

イ 今後期待すること

- ・高田コミュニティハウスや近隣施設との連携をして事業を進めていただけることを期待する。

(3) 横浜市下田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜共生会	1,557／1,950 点	1,472／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・「わっしょい下田」の取組が良かった。地域の高齢者を巻き込んだことで、介護予防にもつながるようになった

イ 今後期待すること

- ・地域みんなが気軽に集まる場所として、ベンチを置く等工夫があると良い。
- ・地域ケアプラザと各団体のつながりが見えるとより良かった。

(4) 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,766／2,010点	1,693／1,098点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・地域ケアプラザとして、職員同士の職種を越えた連携が強いと感じた。
- ・LINEを通じた情報提供が上手いと感じた。
- ・地域の会議等に積極的に参加していている様子が伺えた。
- ・国際交流ラウンジとの連携を行い、外国人との交流が進んでいると感じられた。
- ・福祉避難所としての役割を住民へ説明できているところが良い。

イ 今後期待すること

- ・職員異動があった際にもきちんと継承され、良い取組が引き続き実施できるようにして欲しい。
- ・新規事業は、地域ニーズを把握して実施していただくことを期待する。

(5) 横浜市樽町地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜共生会	1,602／1,950点	1,531／1,062点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・地域包括支援センターの情報共有システムが良かった。
- ・できるか分からないことでも、大変だけどやるといった前向きな姿勢が見られた。
- ・綱島分室との連携がうまくいっている様子が見えた。
- ・理念が分かりやすく、実際の活動との結びつきが質疑応答で感じられた。

イ 今後期待すること

- ・広大な地域を担当しているので、多忙過ぎないかと心配しているため、安定した人材の充足ができるようになるとより良い。

(6) 横浜市城郷小机地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 秀峰会	1,584／2,010点	1,536／1,098点
次点候補者	なし		

(審査講評)

ア 優れていたところ

- ・学校を巻き込んでいる取組が他のところにはないことで、良い取組だと思った。
- ・法人の大きさを活かした安定した経営がされていると感じた。
- ・職員の充足率が高いのが高評価であった。

イ 今後期待すること

- ・防災の取組について、今後期待したい。

応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会他を指定候補者として選定することを決定する。

資 料
・
特 記 事 項

1 資料

- (1) タイムスケジュール
- (2) 市税納付状況確認の照会結果
- (3) 団体役員等の照会結果
- (4) 審査票

2 特記事項

特になし